

不確実性が高まる世界において、これからの日本をとりまく社会環境の変化を予見し、その中で日本の若者たちがどのようにキャリア形成していくのかについて、議論を展開します。特に AI (Artificial Intelligence: 人工知能) の活用があらゆる場面で浸透しつつある現代において、人間の仕事や労働の位置づけも変わっていきます。企業が求める人材イメージも変化してゆくと思われます。多角的な問題提起と新しい視点の提供を試みます。

協力: 日本経済新聞社
PROGRAM プログラム

司会・コーディネーター

鷲田 祐一 (一橋大学大学院経営管理研究科教授・データデザイン研究センター長)

開会挨拶

西野 和美 (一橋大学副学長)

【基調講演】

日本型雇用の終焉 働き方の未来

石塚 由紀夫 (日本経済新聞社編集委員)

【パネル討論 1】

ジョブ型とは何? 変わる仕事・キャリア

【パネリスト】

平松 浩樹 (富士通取締役執行役員専務 CHRO)

古屋 星斗 (リクルートワークス研究所主任研究員)

鷲田 祐一 (一橋大学大学院経営管理研究科教授・データデザイン研究センター長)

【モデレーター】

望月 保志 (日本経済新聞社シニアエディター)

休憩

【パネル討論 2】

AI 時代 情報との向き合い方

【パネリスト】

保科 学世 (アクセンチュア執行役員 AI センター長)

山口 真一 (国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授)

池澤 あやか (タレント兼ソフトウェアエンジニア)

【モデレーター】

渡部 加奈子 (日本経済新聞社 Minutes by NIKKEI 編集長)

まとめ・閉会挨拶

鷲田 祐一 (一橋大学大学院経営管理研究科教授・データデザイン研究センター長)

2025(令和7)年

11.1 土

13:30 ▶ 16:30

会場 一橋大学 国立西キャンパス
如水会百周年記念
インテリジェントホール

参加費

無料

申込方法

事前申込は QR コードから



開催形式

ハイブリッド
[会場 + オンライン]

定員

[会場]
200 名
+

[オンライン]
500 名

(定員になり次第受付終了)

【主催】 国立大学法人 一橋大学

【後援】 国立市、小平市、立川市、国分寺市、府中市、武蔵村山市 各教育委員会



どう学び、
どう働き続けるか



国立大学法人

一橋大学

HITOTSUBASHI UNIVERSITY

一橋大学は 2025 年に創立 150 周年を迎えます。

お問合せ

国立大学法人一橋大学 総務部 広報・社会連携課

〒186-8601 東京都国立市中2-1

電話: 042-580-8058 (平日9:00~17:00) E-mail: res-sr.ml@ad.hit-u.ac.jp